



市議 東 よしき

国保税の軽減で 子育て世代の応援を

高すぎる国民健康保険税が全国どこでも問題になっています。払いたくても払いきれずに「滞納」を余儀なくされる事態も増えています。

実際、40歳代夫婦、10歳代の子ども2人の場合で、所得別に国民健康保険税とサラリーマン等の健康保険料を比較すると下の表のようになります。特に所得200万円に対する国保税の負担割合は14%近くになり大変です。一宮市では18歳未満を対象に一人当たりにかかる税額の3割減免を実施しています。「子育て世代」を応援する新たな減免制度を要求しました。

(固定資産なし)

所得(円)	100万	200万	300万	400万	500万
国保(円)	125,100	277,000	358,200	439,400	513,300
負担率(%)	12.5	13.9	11.9	11.0	10.3
健保(円)	90,999	174,301	244,912	314,643	383,880
負担率(%)	9.1	8.7	8.2	7.9	7.7

住宅リフォーム補助金の追加予算を要求

2千万円の予算で4月から実施された住宅リフォーム助成制度は、

4月11日で受付終了となり好評でした。地域経済活性化にも貢献しています。その後も問い合わせがあることから、国会での社会資本整備総合交付金の活用が可能という見解を紹介し、予算の追加を要求しました。それに対して今後の追加予算は、財源など総合的に検討して判断するとの答弁でした。

公共施設にも雨水タンクの設置を



広報こうなん
6月号より

昨年3月に策定された「第3次江南市総合治水計画」は浸水被害軽減対策や河川・排水路対策など効果的な治水対策の推進を図るものです。この計画に基づいて北部中学校に雨水貯留施設(3,000トン)設置(H24設計、H25建設)、古知野高校にも設置(H25設計)が予定されています。

市民の方が雨水流出抑制につながる施設を設置する際に補助を行っていますが、4月からこの補助制度を一部改正し、1万円以下で施工できる簡易な雨水タンクについては、容量が100 ㍓以上であれば全額補助しています。6月10日時点で51基申請されました。(昨年は1年間で9基)。雨水タンクを市民の協力を求めるだけでなく市の施設にも設置することを要求しました。

その他、尾張北部地域(2市2町)ごみ焼却処理施設計画の当面の見直しについて質しました。

防災計画の見直しを

東日本大震災の教訓から、江南市の防災計画の見直しに直ちに着手すべきではないか、また計画の中に「原発事故への対応」も盛り込むべきではないかとたどしましたが、「国でも被害想定の見直しが行われるので、その動向を見て進めていく」との答弁でした。

避難所の備蓄や障害者への対応、水の確保、情報伝達の在り方等今直ちに検討に入らなければならない問題が山積しています。

国の方針を待つのではなく、江南市として直ちに着手するよう改めて求めました。

○江南駅に交番の設置を

江南駅に交番をつくってほしいという市民の強い要望があります。名鉄タクシーの跡地を借地して出来ないかとたどしたところ、愛知県警と名鉄との間で協議が始まっているとの答弁がありました。布袋についても駅東に候補地を選定し、県警が協議に入っているとの答弁がありました。

○老人福祉センターの風呂場の脱衣棚に鍵の設置を

安心して風呂に入れるよう鍵をつけてほしいとの要望がありました。新たにコインロッカーを購入しなくても、今使っている棚に鍵を取り付けることは可能だと提案しました。7月中にも設置されることになりました。

○自動車関連の土日就業の関連で、休日保育の実施を

保育園で57名、学童保育で20名の希望があります。保育は中央保育園で、学童保育は交通児童遊園で7・8・9月のみ行います。

10月以降も、希望者が休日保育を利用できるよう求めました。

不安がいっぱいの 保育園民営化

布袋北保育園に続いて古西保育園をH25年から指定管理者制度に移行するために、今年業者を募集し、選定しようとしています。

しかし、民営化した布袋北保育園では、2年間で保育士・調理員合わせて19人が退職し、年度末には



市議 森 ケイ子

園長まで突然退職するという異常な事態となっています。これは、営利目的の保育園経営がもたらした結果ではないでしょうか。

先日開かれた古西保育園の保護者説明会でも、そのことに質問が集中し、不安の声がいっぱい出されました。

「布袋北保育園が3年目になって落ちついてきているといくら説明されても、子どもたちにとっては、1年1年が大切な時なんです」と発言されたお母さんがいました。まさにその通りです。

多くの保護者や子どもたちに不安な思いをさせてまで民営化を進めるべきではありません。民営化計画は白紙撤回すべきです。



6月補正予算から 公共施設の延命化計画に 毎年3億円

今後耐用年数を超える市有施設(81施設)について、毎年3億円かけて順次改修工事を行います。

今回の補正予算では、すいとびあ江南の屋上防水工事など17件で約6000万円。

児童虐待防止対策の強化に301万円

増え続ける児童虐待を防止し対応を強化するため、専門対策員を配置し必要備品を整備する予算、301万円。

小中学校の自立的取り組みに1校約100万円

市内の15小中学校の自立的な取り組みに各校約100万円を交付する経費1500万円。



自立的取り組みと称して各校に交付し、それに見合った成果を即求めるようだと、現場の教職員が日夜子ども達のために多忙を極めている中で、いっそう大変にならないか心配です。

支援員の増員など教職員がゆとりを持って子ども達に接することが出来る環境をつくる事こそ必要ではないでしょうか。